

### 3 今月の青果物

#### キャベツ類

主要産地のキャベツ類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2025年度4月入荷量	2025年度4月シェア率
神奈川県	7,401 t	45.6 %
愛知県	5,922 t	36.5 %
千葉県	2,482 t	15.3 %
群馬県	178 t	1.1 %

4月入荷予測	16,500t(前年比101.7%、平年比92.6%)		
4月価格予測	100円(前年比85.5%、平年比93.3%)		
4月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 強保合 ↘	(下旬) 保合 ⇒

#### 今後の競合産地の動向は?

「キャベツ類」は東京都中央卸売市場のデータにおいては一般的な「キャベツ」と、丸玉系品種の「グリーンボール」を合わせたものとなっています。入荷量の内訳ではキャベツが圧倒的多数を占めています。

露地品目のキャベツは降雨が続くと収穫が滞り、市場入荷量も瞬間的に減少することがあります。また、近年、高温、低温や乾燥の影響を受けて生育が遅れることがある一方、適度な降雨や温暖な気象条件で生育が前進することもあり、産地リレーや産地内での作型の切り替わりが上手いかないと端境が生じます。

これらに加え病害虫等の減収要因が重なり日々の入荷量が少なく、また、不安定となることで単価が上昇することがあります。令和6年の春作と令和6年から令和7年にかけての秋冬作は単価が著しく上昇し、量販店では1玉1,000円のキャベツが並ぶ等、異常事態となりました。

4月の見通しとしては、入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回る見込みですが、価格は前年及び平年をかなり下回る見込みとなっています。市場入荷量は前年並ですが、前年は契約販売や加工業務用をはじめとした市場外流通に不足感が漂ったため高騰につながったと考えられます。

